

新潟県生連

新潟県生活と健康を守る会連合会

〒950-0088 新潟市中央区万代1-2-6-403

TEL 025-241-0288

<https://niigatakenseiren.iinaa.net/index.html>

一人はみんなのために
みんなは一人のために

生存権を守る運動に確信、新たな前進へ 新潟県生連が第49回総会を開催



発言一部抜粋

液状化被害と 会員ふやし

旧黒埼町の特に善久では、1月の地震で液状化の被害が

5月12日、新潟県生活と健康を守る会連合会は第49回総会を開催し、全県から代議員・評議員、役員など55名が参加しました。

日本共産党県委員会田中眞一書記長、打越さく良参議員、原発をなくす県連絡会小市新事務局長があいさつ。日々の班会の様子や能登半島地震の被害、地域医療構想の実態など9名が発言。議案を深めるとともに、要求に応じて組織を大きくしようと討論を行いました。総会では、新年度の方針・予算を決め、役員を選出しました。

多く、会員宅も、住宅兼車庫から砂や水が噴き出し傾くなどの被害がありました。家を直す間の借家を探すも、借家自体が被害を受け、短期間ではさらに借りられず、やむなく赤紙の貼られた自宅に戻ったという話もあります。

黒埼守る会も高齢化や思うような活動ができないなど、他の単組と同じ悩みを抱えています。生活相談からの入会や税の書きこみ会から知り合った方に会うために3日続けて通って新聞を1部増やしたりと、何とか元気を出して頑張っています。黒埼守る会 後藤リツ

生活保護世帯へのエアコン設置

長岡市では、今年度予算でエアコンの設置予算が計上されました。市の担当者から、今期限りの市の単独事業で、生活保護世帯で、エアコンが一台も無い世帯に購入設置工事補助金を出すと、説明を受けました。

今まで国の制度を使い、2023年度までの6年間で、21台取り付けがあったそうです。市独自の予算なので、国の制度より対象の範囲が広く、宣伝をして会員増やしに役立てたいと思います。長岡守る会 高坂広

49期新潟県生連新役員

会長	野本 孝子 (前)	常任理事	相馬 襄士 (前)
副会長	吉田 松雄 (新)		渋谷 仁 (前)
	斎藤 正直 (新)		中村 武夫 (前)
	野沢 慎一郎 (新)		井浦 正 (新)
事務局長	倉島 智恵子 (新)		高坂 廣 (前)

会計監査・和澄利男、瀬賀孝子

顧問・渡辺和子

呼びかけ

裏金・軍拡の自民政治ノー！ 今こそ会員・新聞をふやしましょう



物価高で暮らしは大変です。ところが、自民党は、「裏金」事件の反省なしに、大企業と大金持ちから企業団体献金（賄賂）を貰い続けようと必死です。国民には年金、生活保護引き下げや、医療・介護の値上げなどを押し付け、軍事費を43兆円に増やそうとしています。もう古い自民党政治を終わらせましょう。

生活と健康を守る会は、様々な要求を実現してきました。守る会に入会して「気持ちが明るくなった」と喜ばれています。守る会なしには暮らしを守り、政治を変えることはできません。

守る会は、5月から7月までを「要求実現、会員・新聞ふやし特別期間」とし、会員みなさんに会員と新聞をふやすことを強く呼び掛けています。知り合いや兄弟、職場の仲間などに入会と新聞をすすめましょう。

桐生市違法事件から学び 市町の生活保護を住民本位に

また、倉島智恵子（現事務局長）が、保護率が下がり自動車の保有が極端に少ない長岡市の生活保護

群馬県桐生市は、保護費を1日1000円、月内に全額を支給しないとといった違法な運用をおこない、保護利用者が10年間で半分に、母子家庭は10分の1に急減しました。全生連は、学者や他団体に呼びかけ「全国調査団」を結成し、4月4日・5日に調査をおこない、群馬県と桐生市に改善を求めました。桐生市での市民集会には200名が参加しました。

新潟県生連は、4月27日、この調査を機会に各地の守る会が生活保護の運用状況を調査し、改善運動にとりくむことを目的に新潟市で「調査団報告会」を開催し、12守る会・26名が参加しました。

の保有が極端に少ない長岡市の生活保護について特別報告しました。

参加者から、「なんで違法が発見できなかったのか」「捕捉性（自動車、生命保険、稼働能力）より、まず申請をさせるべき」「自分の市の実状を知らなければ」などと、活発な発言がありました。

